

総合特別区域の進捗に係る評価  
[グリーン・イノベーション分野]

令和3年度

レアメタル等リサイクル資源特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年9月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.5+5)/2=4.8$

4.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額	142%	5
2	特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域)	83%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4.5$

4.5

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

5.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.8+4.7+4.8)/3=4.4$

4.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.8

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.8

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.8

・新型コロナ感染拡大の影響を受けながらも、環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額が目標値を上回り、本特区の取組みは順調に進捗していると言える。廃太陽光システムリサイクルネットワークの構築は、ますます重要性が高まると予想されることから、一層の推進を期待する。

・コロナ禍の影響を受ける中、製造品出荷額、金属系使用済製品の搬入量ともに令和元年度の値を上回っており、極めて順調に事業が進んでいると認められる。小型家電の回収が順調に増加している点等はモデルとして全国に波及することを期待したい。廃太陽光パネルのリサイクル事業は、今般の国際情勢において重要となる国内貴金属資源の確保の観点からも重要である。数年程度先の将来に廃太陽光パネルの急激な増加が見込まれ、それに対応するロジスティクスや処理システムの整備について計画・整備を図られたい。その際、規制緩和に関する提案を期待する。

・当該年度の循環産業の売上が当初目標を上回ったことは高く評価される。一方で搬入量が目標を達成できない理由、売上げとデカップリングできている理由等について追加的な説明を期待します。

・国の輸出規制や新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、特区への使用済製品搬入量に回復の傾向が示されていることが評価される。リサイクル関連の産業集積に向けて設備投資を支援する県独自の支援制度の活用を着実に進めてきた効果が出荷額や雇用拡大に表れているものと評価される。順調に回収量が増加しているとされる小型家電について、課題とされている充電池も含め、今後の取り組みに期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.8

### 総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算  $(4.8+4.4+4.8 \times 2) / 4 = 4.7$

4.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。